



・会長 菊田 利昭 幹事 熊澤 功
 ・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3 尾張旭市商工会館内
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 ・E-mail: jimuoariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org



イマジン
ロータリー

2022-23 年度

IRテーマ イマジンロータリー

地区方針 未来を描こう、笑顔でつなごう

～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

本日の例会プログラム 2022年12月17日 (第2448回) No. 2328

点鐘 18:00 年忘れ家族会 於名古屋東急ホテル
 唱和 手に手つないで 担当者: 親睦活動委員会

前回の例会記録 2022年12月9日 (第2447回)

○斉唱: 四つのテスト

○出席者: 会員 20 名中 16 名出席 出席率 80.00%

会長挨拶

菊田 利昭



12月に入って寒くなってきました。ちゃんと冬になるのだな、と感じています。早いもので、例会場での例会も今日が年内最後となりました。私の会長の年度もほぼ半分が過ぎ

ましたので、これまでの半年を振り返ってみたいと思います。

猛威を振っていた新型コロナも下火となり、例会をすべて開催することができました。また、皆様のご協力のおかげで、ほぼすべての行事を行うことができました。

6月の夜間例会はフレンチのお店で開催しました。親睦活動委員会のご尽力により素敵なお店をとっていただき、おいしいお料理を堪能しました。

10月には市民祭での苗木配布がありました。久しぶりの苗木配布でしたし、広報の方法も変更になったので、市民の方が集まってくれるのか心配しましたが、社会奉仕委員会、公共イメージ委員会の皆様のご尽力で広く周知していただき、当日はたくさんの市民の方が集まってあっという間に配布が終わりました。

ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問、地区大会もありました。

箕輪さんのお宅の離れで開催された戦略委員会や、先週のクラブフォーラムでの話し合いは、今後の方向性を考えるのに非常に参考になりました。

ロータリーロマンにふれあう会が志ら玉で開催されたのも楽しい思い出です。

来週には年忘れ家族会が東急ホテルで開催されます。楽しいアトラクションも計画されているようですので、皆様楽しみにしてください。

以上が今年の行事です。来年は、1月25日に職業奉仕委員会のご担当で職場例会が開催されます。

また、まだ日時は決まっていますが青少年奉仕委員会のご担当で旭野高校への図書贈呈が補

疾病予防と治療月間

例会予定	12月23日(金)	12月30日(金)	1月6日(金)	1月13日(金)
	休会 定款による休会	休会 定款による休会	卓話担当者: 会長・幹事 卓話者: // 演題: 「新年の抱負」	休会 定款による休会

助金事業として行われます。3月18日にはIMが、4月15-16日にはWFFが行われます。

さらに、たぶん5月になると思われますが、親睦活動委員会が春の家族会を計画してくださっています。来年も行事が盛りだくさんです。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

この半年、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

幹事報告

・12/8(木)地区研修実行委員会 於ガバナー事務所
森井地区研修実行副委員長 出席
次回例会：12/17(土)年忘れ家族会 於名古屋東急
ホテル 受付 17:30 点鐘 18:00

ニコボックス

○今年最後の例会場での例会です。この半年間大変お世話になりました。来年もよろしくお願い致します。 菊田 利昭君

○加藤さん、体調はいかがですか。卓話を楽しみにしています。

菊田 利昭君、熊澤 功君、飯田 幸雄君
桜井 雅博君、谷口 亜弥さん、舟橋 龍秀君
森 友子さん、森井 晴生君

○とうとうコロナにかかってしまいました。皆様、一段のご留意をお願いします。

加藤 清久君

○本日、卓話を担当させていただきます。病み上がりですのでよろしくお願いします。加藤 清久君

○加藤さんの卓話を期待しております。私の財布もあたたかくして下さい。ついでにコロナ無事回復よかったですネ。 箕輪 良孝君

○先週急に欠席しました。 箕輪 良孝君

○加藤清久さん、お元気になられてよかったです。本日の卓話よろしくお願いします。

山田 直樹君

卓話



「経済 雑話」

加藤 清久

最近、円安のニュースが話題になっています、日本と米国の為替レートをみながら経済との関係について話してみようと思

います。

まず、為替とは何でしょうか、売買代金の受払いや資金の移動を、現金を輸送することなく行う手段で、国を跨がる場合はレートがあり、これが「為替レート」となります。

時代を追って、日米の為替レートを見ますと、

1874年(明治7年)	1 \$	ほぼ	1円
1912年(大正元年)	1 \$		2円
1925年(昭和元年)	1 \$		2.5円
1940年(昭和15年)	1 \$		4.3円
1950~1970年	1 \$		360円(戦後)
1975年	1 \$		300円

2012年 1 \$ 75.32円(円債強)

2022年 1 \$ 150円

で、戦後、極端に安くなり最強は2012年です。為替レートは国の力を示すもの一般に国力の比較に用います。

何故、こんなに円安になったのでしょうか、1945年敗戦から一貫して経済発展させてきた日本、1990年頂点に達しバブルが崩壊、以降30年横ばいです。

その原因は、日本企業の国外流出、経営者がバブルを恐れ内部留保に全力をあげた、日本全体がパイオニアスピリットをなくした、政府に何でも頼るようになった等。

一方、米国は、1980年代後半、「ジャパン ワズ NO1」といわれ、製造業で敗れ“これはいかん”と頑張り、石油を自給自足できるように、日本と違った分野で勝負、コンピュータ、スマホ、IT、情報、流通、その他今日の先端産業を創った。

そこへ、2020年コロナが追い打ち経済回復のため財政出動、2022年2月のロシアのウクライナ侵攻も相まってインフレが起きた。

結果、金融引き締め米国金利は4%台になった、しかし、日本は金利があげられず、(金利4%の上昇は40兆円の金利負担が生じ、所得税、法人税、消費税の総額に匹敵する)、「円を売って\$を買う」で円安が進行した。

ところで、「円安は悪いことか」、私見になりますが、チャンスと考えます。国内への産業回帰、自助努力、企業の内部留保を使っての新規産業の創出、規制緩和等図れば必ず経済回復すると信じます。日本の資本主義は米国と比較して違うところがあります。

米国は株主に最大限の利得を与えますが、日本は、株主、経営者、社員等配慮した福祉形資本主義です、よって、なかなか急の変更はできないにしても、悲観することはありません。

日本人は戦争に負け、零から日本を創って来ました、それを経験しています、「匠の心を持つ民族性」、「治安の良さ」、「教育水準の高さ」等々、心をあわせ頑張れば明るい未来が待っています。

米山奨学生学友合同忘年会

日 時：12月10日(土4)

場 所：ホテルメルパルク名古屋

出席者：菊田会長・山田クラブ奉仕委委員長

